（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぱんはうすさくら草加八潮教室			
○保護者評価実施期間	2025年10月1日	～	2025年10月31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	40人	（回答者数）	36人
○従業者評価実施期間	2025年10月25日	～	2025年11月8日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	14人	（回答者数）	１４人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月8日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	楽しみに通所してくれている児童が多い。	遊びを通して学べることの多さを大切に支援に取り組んでいる。	友達との関りの大切さを伝えながら、思い切り児童と楽しく遊ぶ・活動する。
2	保護者と話す機会が多くある。	連絡帳とは別に書面で報告することが難しい場面や様子の詳細を送迎担当職員が個々の言葉で伝えることを心掛けている。	常に児童と保護者を思いやり、安心して過ごせる場所にしていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	シフトの組み方によりすれ違いが続いてしまう職員が出てしまう。	送迎を行える職員が少ない事で、送迎重視のシフト組になってしまうことがある。	ドライバーの確保。
2	開所年数が短い事で経験が少ない。	児童の成長と共に移行支援等、様々な支援が必要となってくる。	研修や福祉事業所、相談事業所斗連携し情報収集に努める。恥ずかしがらずにわからないことは質問し学びながら、経験を積んでいく。
3			